文化表現学科・地域保育学科
図書館司書課程

2023 年 4 月 1 日　更新

科　目　名	生涯学習概論	単 位 数	2	授業時間数	３０	担当教員	いとう　あきよし 伊藤　明芳
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3222	授業形態	講義	実務経験			

授業方式	(対面)・　遠隔　・　その他（　　）
授業の内容	大きく変動する社会の中で、特に現代は「生涯学習」が必要になってきたと言われている。本講義では、生涯学習についての基本的な意味、社会的背景、歴史、必要性、さまざま考え方を学ぶ。さらに、図書館をはじめ、生涯学習の担い手となる機関等への理解を深める。
到達目標	１．　生涯学習に意味、理念を理解している。 ２．　各発達段階における対象者の生涯学習計画を提案できる。 ３．　図書館司書等、生涯学習の担い手としての機関等の役割や活動を理解している。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　　）文化表現学科（2,3,4）

授業計画					
	第１回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読んでおく。
				復習	本講義の概要を理解する。
	第２回	内容	生涯学習とは何か(意味、社会的背景)	予習	生涯学習の定義を調べる。
				復習	学んだことを整理し、理解する。
	第３回	内容	地域の場からの学習	予習	地域での学びについて調べる。
				復習	学んだことを整理し、理解する。
	第４回	内容	地域の人々の相互学習	予習	相互学習の具体的な形態について調べる。
				復習	学んだことを整理し、理解する。
	第５回	内容	生涯学習の方法	予習	どのような方法があるか調べる。
				復習	学んだことを整理し、理解する。
	第６回	内容	生涯学習と図書館	予習	図書館の機能について調べる。
				復習	学んだことを整理し、理解する。
	第７回	内容	人の心の生涯発達	予習	生涯に渡る心の変化について調べる。
				復習	学んだことを整理し、理解する。
	第８回	内容	老年期の発達の課題	予習	どのような発達課題があるか調べる。
				復習	学んだことを整理し、理解する。
	第９回	内容	生涯学習プラン	予習	プラン作成について調べる。
				復習	学んだことを整理し、理解する。
	第 10 回	内容	(実地)生涯学習機関での学習①	予習	当該機関について事前に調べる。
				復習	実地に学んだこと等を整理する。
	第 11 回	内容	(実地)生涯学習機関での学習②	予習	当該機関について事前に調べる。
				復習	実地に学んだこと等を整理する。
	第 12 回	内容	(実地)生涯学習機関での学習③	予習	当該機関について事前に調べる。
				復習	実地に学んだこと等を整理する。
	第 13 回	内容	発表会準備(学びとプランの作成)	予習	発表内容を考える。
				復習	発表原稿を作成する。
	第 14 回	内容	発表会	予習	発表リハーサルをおこなう。
				復習	発表リハーサルをおこなう。
	第 15 回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	講義全過程の学びを整理する。
				復習	丁寧に復習をする。
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。				

課題へのフィードバック	発表会やレポートの講評をおこなう。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、実技（40%）
教科書	特に指定しない。
参考文献	必要に応じて授業内で紹介する。
補足事項	.

科目名	図書館概論	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3211	授業形態	講義	実務経験			

授業方式	(対面)・ 遠隔 ・ その他（ ）
授業の内容	司書資格取得の必修科目かつ入門科目として、図書館の基礎知識を学びます。まず、図書館に関する科目で共通する基礎知識・基礎概念を学びます。その後、図書館の館種別に、歴史、法制度、社会での役割、サービスの内容と意義、図書館職員の資格と業務内容、他機関との連携、課題と今後の展望について幅広く解説します。授業では講義および講義内容をより深く理解するためのグループディスカッションを行います。
到達目標	1．図書館の歴史と現状、法制度について理解している 2．公共図書館を中心とする図書館サービスの内容とその意義について説明できる 3．社会における図書館の位置づけと他機関連携について説明できる
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3、4 ）

授業計画

第1回	内容	オリエンテーション、図書館の種類と定義	予習	シラバスの内容をよく読んでおく
			復習	本授業の内容と進め方を理解する
第2回	内容	図書館の構成要素と機能	予習	図書館の構成要素について調べる
			復習	図書館の館種別機能を理解する
第3回	内容	図書館のサービスと社会的意義	予習	近隣の公共図書館のウェブサイトに目を通す
			復習	公共図書館の社会的意義を理解する
第4回	内容	図書館の歴史	予習	アレクサンドリア図書館について調べる
			復習	日本の公共図書館の歴史について理解する
第5回	内容	知的自由と図書館	予習	図書館の自由に関する宣言を予読する
			復習	図書館の知的自由とは何か理解する
第6回	内容	知的自由と図書館②（グループワーク）	予習	図書館の知的自由に関する事例を調べる
			復習	図書館の知的自由についてレポートを書く
第7回	内容	図書館法と関連法規、制度	予習	図書館法を予読する
			復習	図書館法の内容を理解する
第8回	内容	国立国会図書館の制度と機能、専門図書館の制度と機能	予習	納本図書館について調べる
			復習	授業で扱った図書館のウェブサイトに目を通す
第9回	内容	公共図書館の制度と機能	予習	公立図書館と公共図書館の違いについて調べる
			復習	公共図書館の機能について理解する
第10回	内容	学校図書館の制度と機能、大学図書館の制度と機能	予習	大学図書館を利用し、機能を知る
			復習	学校図書館と大学図書館の機能を理解する
第11回	内容	図書館職員の種類・資格・業務内容	予習	司書資格に必要な要件について調べる
			復習	司書の資格、業務について理解する
第12回	内容	近年の公共図書館をめぐる議論	予習	指定管理者制度について調べる
			復習	授業で扱った資料に目を通す
第13回	内容	近年の公共図書館をめぐる議論②（グループワーク）	予習	第12回の授業資料を確認し、討議に備える
			復習	図書館に関する議論についてレポートを書く
第14回	内容	海外の図書館制度とサービス	予習	海外の公共図書館のウェブサイトに目を通す
			復習	近年の海外公共図書館の動向を理解する
第15回	内容	図書館と他機関の連携・今後の課題と展望	予習	新聞・インターネットで図書館に関するニュースを読む
			復習	現代図書館界の課題と展望を理解する

予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。

課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【グループワーク】(30%)
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ1 図書館概論 改訂版』(高山正也、岸田和明・編著、樹村房、2017) 『JLA図書館情報学テキストシリーズⅢ 1 図書館概論 五訂版』(塩見昇・編著、日本図書館協会、2018)
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。

科　目　名	図書館制度・経営論	単 位 数	2	授業時間数	３０	担当教員	つちや　みゆう 土屋　深優
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3223	授業形態	講義	実務経験			

授業方式	(対面)・　遠隔　・　　その他（　　）
授業の内容	図書館及び関連領域に関する法律、制度、政策、図書館経営の実態について解説を行います。また、図書館と他の公的機関の連携、図書館の施設と設備、図書館サービスの計画と予算、今後の図書館経営のあり方についてグループワーク・討議を行い、各自の考察を深めます。
到達目標	１．図書館関連法規、図書館経営に関する制度について理解している ２．図書館経営に必要な組織運用、計画の作成と評価、図書館経営の今後の発展について理解している ３．図書館経営の意義、ならびに職員の職務、他機関との連携について説明できる
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　　）文化表現学科（　２、３、４　）

授業計画					
	第１回	内容	オリエンテーション 図書館経営の理念	予習	シラバスの内容をよく読んでおく
				復習	本授業の内容を理解する
	第２回	内容	図書館法と図書館経営制度	予習	図書館法を予読する
				復習	図書館法の内容について理解する
	第３回	内容	図書館法以外の図書館関連法規と条例、基準	予習	図書館の設置および運営上の望ましい基準を予読する
				復習	図書館法以外の関連法規の内容を理解する
	第４回	内容	子どもの読書関連法規、図書館サービス関連法規	予習	子どもの読書活動推進に関する法律を予読する
				復習	子どもの読書活動推進について理解する
	第５回	内容	図書館関連政策（国・地方）	予習	埼玉県の図書館政策に目を通す
				復習	図書館関連政策について理解する
	第６回	内容	公共図書館の管理と経営	予習	指定管理者制度について調べる
				復習	図書館の様々な運営形態を理解する
	第７回	内容	パブリックガバナンスと図書館（グループワーク・討議）	予習	図書館以外の公共施設の運営形態を調べる
				復習	公共施設としての図書館についてレポートを書く
	第８回	内容	図書館の計画と予算	予習	日本の図書館統計に目を通す
				復習	図書館全体の計画の仕組みついて理解する
	第９回	内容	図書館資料とサービス計画	予習	埼玉県立図書館の図書館サービス計画を読む
				復習	図書館サービスの計画と評価について理解する
	第 10 回	内容	図書館計画と運営の評価	予習	埼玉県立図書館の図書館要覧を予読する
				復習	図書館サービスの評価の仕組みを理解する
	第 11 回	内容	図書館職員と司書	予習	文科省の司書についてのサイトを読んでおく
				復習	図書館司書の専門性について理解する
	第 12 回	内容	図書館職員の専門性とボランティア（グループワーク）	予習	図書館司書の業務を調べる
				復習	図書館司書の役割についてレポートを書く
	第 13 回	内容	図書館における施設と危機管理	予習	図書館における災害対策について調べる
				復習	図書館における危機管理について理解する
	第 14 回	内容	公共図書館の今後の役割と地域連携	予習	図書館と他の公共施設との連携について調べる
				復習	図書館の新たな役割について理解する
	第 15 回	内容	図書館経営の課題と展望（グループワーク・討議）	予習	新聞・インターネットで図書館に関するニュースを読んでおく
				復習	図書館経営の課題についてレポートを書く
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。				

課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（70%）、作品・発表（　　%）、実技（　　%）、授業態度【討議での積極性】(30%)
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。
参考文献	『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望５　図書館制度・経営論　第２版』（手嶋孝典編著、学文社、2017） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ　２　図書館制度・経営論』（永田治樹、日本図書館協会、2016）
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。

科　目　名	図書館情報技術論	単 位 数	2	授業時間数	３０	担当教員	こやま　もりえ 小山　守惠
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3224	授業形態	講義	実務経験			

授業方式	(対面)・　遠隔　・　その他（　　）
授業の内容	図書館業務に必要な基礎的な情報技術に関する知識を習得することを目的とする。 図書館業務システム、コンピュータの基礎、データベース、検索エンジン、電子資料など、図書館業務とサービスにおける情報技術やインターネットの活用について解説する。
到達目標	１．図書館で活用する情報技術について理解している ２．印刷資料からデジタルコンテンツの管理にかかわるシステムについて理解している
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　文３に相当　）文化表現学科（　３　）

授業計画

第１回	内容	ガイダンス 図書館情報技術の全体像	予習	シラバスを読んでおく
			復習	この科目で習得すべき内容を理解する
第２回	内容	コンピュータとネットワークの基礎	予習	コンピュータの仕組みを調べる
			復習	コンピュータとネットワークを理解する
第３回	内容	情報技術と社会	予習	情報技術の社会の関りを調べる
			復習	情報技術と社会の関りをまとめる
第４回	内容	図書館における情報技術の現状	予習	図書館で使われている情報技術を調べる
			復習	図書館業務に必要な報技術を理解する
第５回	内容	データベースの仕組み	予習	人とデータベースの関りを調べる
			復習	図書館のデータベースの仕組みを理解する
第６回	内容	メタデータの基本概念	予習	書誌情報の構成を整理しておく
			復習	図書館とメタデータの関りを理解する
第７回	内容	情報システムの管理	予習	自分のセキュリティ管理について考える
			復習	セキュリティの課題についてまとめる
第８回	内容	図書館業務システムの仕組み	予習	図書館業務を整理しておく
			復習	図書館の管理システムの課題を整理する
第９回	内容	電子資料	予習	身近にある電子書籍を調べる
			復習	電子資料と紙の資料の特性を整理する
第 10 回	内容	ディジタルアーカイブ	予習	電子資料とは何か整理しておく
			復習	ディジタルアーカイブの必要性をまとめる
第 11 回	内容	検索システムのしくみ	予習	自分が行う情報検索方法を考える
			復習	各種検索システムを整理する
第 12 回	内容	図書館と著作権	予習	身の回りの著作権について考える
			復習	図書館と著作権の関係を整理する
第 13 回	内容	これからの図書館	予習	学外の図書館を技術の視点で見学しておく
			復習	情報技術と機能について整理する
第 14 回	内容	講義復習　　演習課題	予習	図書館の情報技術の在り方を整理しておく
			復習	図書館で必要な情報技術の問題をまとめる
第 15 回	内容	図書館委託業務、まとめ	予習	図書館委託業務について考える
			復習	図書館の情報技術について振返りまとめる

予習に要する学習時間：概ね　90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90　分を目安とする。

課題へのフィードバック	各回の課題に対して解説を行う。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○ ）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（100%）、作品・発表（　　%）、実技（　　%）、授業態度【　　】（　　%）
教科書	使用しない
参考文献	授業時に提示する
補足事項	理解確認のための課題を提示する

科目名	図書館サービス概論	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや　みゆう 土屋　深優
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3212	授業形態	講義	実務経験			

授業方式	(対面)・　遠隔　・　その他（　　）
授業の内容	主に公共図書館における図書館サービスについて、概念と基礎知識を学びます。まず、図書館サービスの定義、種類、意義について学び、個々のサービスごとにより詳細な内容と意義について講義を行います。その後、図書館サービスの中でも議論のある分野について、グループワークを通して理解を深めます。グループワーク後には小レポートを課します。
到達目標	1．　図書館サービスの内容と意義について説明できる 2．　図書館サービスを実践する上での基礎知識を獲得している 3．　近年の図書館サービスの現況と課題について説明できる
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　　）文化表現学科（　2、3、4　）

授業計画

第1回	内容	オリエンテーション・図書館サービスとは何か	予習	シラバスをよく読んでおく
			復習	本授業の内容と進め方を理解する
第2回	内容	図書館の機能とサービス	予習	近隣の公共図書館のウェブサイトを閲覧する
			復習	図書館サービスの内容について理解する
第3回	内容	図書館サービスの歴史	予習	中小レポート（授業内で紹介）を予読する
			復習	図書館サービスの変遷について理解する
第4回	内容	資料提供サービス	予習	公共図書館の貸出サービスについて調べる
			復習	資料提供サービスの仕組みを理解する
第5回	内容	情報提供サービス	予習	レファレンスサービスについて調べる
			復習	情報提供サービスの種類について理解する
第6回	内容	課題解決型サービス・多文化サービス	予習	課題解決型サービスとは何か調べる
			復習	近隣の公共図書館の課題解決型サービスについてウェブサイトを閲覧する
第7回	内容	地域に合わせた図書館サービス（グループワーク）	予習	コミュニティサービスとは何か調べる
			復習	地域に合ったサービスについてレポートを書く
第8回	内容	障害者サービス	予習	デイジー資料とは何か調べる
			復習	図書館での障害者サービスの展開を理解する
第9回	内容	高齢者サービス、児童サービス	予習	回想法について調べる
			復習	年代に合わせたサービスについて理解する
第10回	内容	アウトリーチとエクステンション	予習	アウトリーチとは何か調べる
			復習	図書館の外でのサービスについて理解する
第11回	内容	利用者への対応と広報	予習	ウェブサイトでの図書館広報について調べる
			復習	幅広い図書館サービスの広報について理解する
第12回	内容	図書館における利用者接遇（グループワーク）	予習	図書館における利用者接遇について自分なりの意見を考えてくる
			復習	図書館での利用者接遇についてレポートを書く
第13回	内容	図書館サービスの連携と協力	予習	図書館ネットワークとは何か調べる
			復習	図書館サービス連携の事例を読む
第14回	内容	図書館サービスと著作権	予習	著作権法を予読する
			復習	著作権法における図書館の立ち位置を理解する
第15回	内容	図書館サービスの課題と展望	予習	図書館サービスに関するニュースを読む・見る
			復習	図書館サービスの展望について理解する

予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。

課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（60 %）、作品・発表（　　%）、実技（　　%）、授業態度【グループワーク】（40 %）
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。
参考文献	『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望　6　図書館サービス概論』（平井歩実、二村健・編著、学文社、2018） 『事例で学ぶ図書館1　事例で学ぶ図書館サービス概論』（吉井 潤・著、青弓社、2022）
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。

科　目　名	情報サービス論	単 位 数	2	授業時間数	３０	担当教員	つちや　みゆう 土屋　深優
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3225	授業形態	講義	実務経験			

授業方式	(対面)・　遠隔　・　　その他（　　）
授業の内容	図書館司書の業務のなかでも特に重要な情報サービスについて、基礎知識・技能を学びます。まず、情報サービスの種類、レファレンスサービスの技法、情報サービスを行う上で利用する情報源の種類と整理、デジタル環境下における情報サービスについて講義を行います。その後、グループワークを通して情報サービスの技法について理解を深めます。
到達目標	１．　図書館における情報サービスについて基礎知識と技法を理解している ２．　レファレンスサービスの実践ができる ３．　情報検索サービスの実践ができる
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　　）文化表現学科（　２、３、４　）

授業計画				
第１回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスの内容をよく読んでおく
			復習	本授業の内容と進め方を理解する
第２回	内容	情報サービスの定義と意義	予習	情報サービスの定義について調べる
			復習	情報サービスの意義を理解する
第３回	内容	情報ニーズと情報探索・情報検索	予習	情報探索と情報検索の違いについて調べる
			復習	情報ニーズに合わせた情報探索行動を理解する
第４回	内容	レファレンスワークの意義と技法	予習	レファレンスインタビューについて調べる
			復習	レファレンスプロセスについて理解する
第５回	内容	レファレンスワークの意義と技法②（グループワーク）	予習	レファレンス質問を分析してくる
			復習	レファレンスワークについてレポートを書く
第６回	内容	図書館の各種情報サービス	予習	レファレンスワーク以外の情報サービスについて調べる
			復習	公共図書館のウェブサイトを確認し、情報サービスの実施状況を知る
第７回	内容	情報サービスに利用する情報源：種類と整備	予習	レファレンスブックについて調べる
			復習	情報サービスに関する情報源について理解する
第８回	内容	情報サービスに利用する情報源：調べ方①	予習	事実情報の検索方法について調べる
			復習	授業内であつかった資料を図書館で確認する
第９回	内容	情報サービスに利用する情報源：調べ方②	予習	書誌データの検索方法について調べる
			復習	授業内であつかった資料を図書館で確認する
第 10 回	内容	情報源の利用（グループワーク）	予習	第 8 回、第 9 回の授業内容を復習する
			復習	情報源の利用についてレポートを書く
第 11 回	内容	デジタル環境下の情報サービス	予習	レファレンス協同データベースを閲覧する
			復習	デジタル情報サービスの特性について理解する
第 12 回	内容	情報検索の技法と評価	予習	自由語・統制語について調べる
			復習	基本件名標目表を図書館で閲覧する
第 13 回	内容	情報検索の実践（グループワーク）	予習	興味がある事柄について検索式を立てる
			復習	情報検索についてレポートを作成する
第 14 回	内容	情報サービスの管理	予習	レファレンスサービスガイドラインを予読する
			復習	情報サービスの組織化について理解する
第 15 回	内容	情報サービスの課題と展望	予習	情報サービスの課題について調べる
			復習	情報サービスの課題と展望を理解する

予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。

課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（60%）、作品・発表（　　%）、実技（　　%）、授業態度【グループワーク】(40%)
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。
参考文献	『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望　4　情報サービス論』(竹之内禎・編著、学文社、2013) 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ　5　情報サービス論』(小田光宏・編著、日本図書館協会、2016)
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。

科　目　名	児童サービス論	単 位 数	2	授業時間数	３０	担当教員	つちや　みゆう 土屋　深優
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3221	授業形態	講義	実務経験			

授業方式	(対面)・　遠隔　・　その他（　　）
授業の内容	乳児からヤングアダルトまでを対象とした、子ども向け資料の管理と提供、子どもの読書を推進する取り組み、他機関との連携等について、基本知識と技術の習得を目指します。また、いくつかの単元についてはグループワークを行い、多様な視点を獲得することを目指します。児童サービスの内、読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリングについては演習形式で理解を深めます。
到達目標	１．図書館における児童サービスの意義と取り組みについて理解している ２．児童向け資料の基礎知識を理解し、収集と提供について説明できる ３．子どもの読書を推進する取り組みを理解し、実践できる
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　１．２．３．４．５　）文化表現学科（　１．２．３．４　）

授業計画

第１回	内容	オリエンテーション 児童にとっての読書の意味	予習	シラバスの内容をよく読んでおく
			復習	本授業の内容を理解する
第２回	内容	児童サービスの意義と歴史、児童サービスの管理と運営	予習	児童サービスの意義とは何か調べる
			復習	児童サービスの意義と歴史について理解する
第３回	内容	児童向け資料の種類と提供	予習	年齢別の子ども向け資料の種類を調べる
			復習	子どもへの資料提供方法を理解する
第４回	内容	乳幼児サービス、YA サービス	予習	YA とは何か調べる、ブックスタートについて調べる
			復習	児童サービスと乳幼児サービス、YA サービスの違いを理解する
第５回	内容	学校図書館へのサービス、特別なニーズをもつ子どもへのサービス	予習	ディスレクシアについて調べる
			復習	学校図書館と公共図書館の連携について調べる
第６回	内容	おはなし会の意義と役割（グループワーク・討議）	予習	おはなし会で行われる取り組みについて調べる
			復習	おはなし会の意義と役割を理解する
第７回	内容	読み聞かせの意義と準備	予習	読み聞かせの意義について調べる
			復習	読み聞かせの準備について理解する
第８回	内容	読み聞かせ演習（発表）	予習	読み聞かせの資料を選び、練習をしておく
			復習	読み聞かせの自己評価をレポートにまとめる
第９回	内容	読み聞かせ演習（発表）②	予習	読み聞かせの資料を選び、練習をしておく
			復習	読み聞かせの自己評価をレポートにまとめる
第 10 回	内容	ブックトークの意義と準備	予習	ブックトークの意義について調べる
			復習	授業の内容を踏まえてブックトークのシナリオを作成する
第 11 回	内容	ブックトーク演習（発表）	予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく
			復習	ブックトークの自己評価をレポートにまとめる
第 12 回	内容	ブックトーク演習（発表）②	予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく
			復習	ブックトークの自己評価をレポートにまとめる
第 13 回	内容	ストーリーテリングの意義と準備	予習	ストーリーテリングの意義について調べる
			復習	ストーリーテリングの準備について理解する
第 14 回	内容	ストーリーテリング演習（発表）	予習	ストーリーテリングの作品を選定し、練習する
			復習	ストーリーテリングの自己評価をレポートにまとめる
第 15 回	内容	児童サービスの課題と展望（グループワーク・討議）	予習	児童サービスの課題について調べる
			復習	児童サービスの展望について理解する

予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。

課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、発表時にも適宜コメントをします。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（50%）、作品・発表（50%）、実技（　　%）、授業態度【　　】（　　%）
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。
参考文献	『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望７　児童サービス論』（望月道浩・平井歩実編、学文社、2015） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ　6　児童サービス論　新訂版』（堀川照代、日本図書館協会、2020）
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。

科　目　名	情報サービス演習	単 位 数	2	授業時間数	６０	担当教員	こやま　もりえ 小山　守恵
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3231	授業形態	演習	実務経験			

授業方式	(対面)・　遠隔　・　その他（　　）
授業の内容	図書館が扱う情報資源の特性を把握し、利用者に適切な回答を提供するための基礎知識と技術を習得することを目的とする。 情報入手のための情報源や情報サービスの設計、ファレンスコレクションの構築、発信型情報サービスなど、利用者の要求に対する回答処理の実践的な技術を学ぶ。
到達目標	１．レファレンス担当としての自覚を持ち、信頼性の高い情報サービスの提案ができる ２．各種レファレンスツール（参考資料、インターネット情報源等）の特性を理解して、利活用できる ３．最終的に、自分の力でレファレンス回答にたどり着ける力を身につけている
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　文２，３，４に相当　）文化表現学科（　２，３，４　）

授業計画

第１回	内容	ガイダンス レファレンス能力の確認	予習	シラバスを読んでおく
			復習	この科目で習得すべき内容を理解する
第２回	内容	情報サービスの意義と設計	予習	教科書を読んでおく
			復習	情報サービスの意義を整理する
第３回	内容	情報サービスの評価　①情報資源とレファレンスコレクション	予習	教科書を読んでおく
			復習	図書館資料を理解する
第４回	内容	情報サービスの評価　②情報資源とレファレンスコレクションの実際（図書館内での演習）	予習	本校の情報資源を調べる
			復習	レファレンスコレクションの特性を理解する
第５回	内容	情報サービスの評価　③情報資源とレファレンスコレクションの実際（図書館内での演習）	予習	本校の情報資源を調べる
			復習	レファレンスコレクションの特性を理解する
第６回	内容	情報探査行動	予習	教科書該当箇所を読んでおく
			復習	利用者の探索行動を理解する
第７回	内容	情報資源の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく
			復習	情報資源の検索の方法を理解する
第８回	内容	情報資源、Web ページ、Web サイトの検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく
			復習	ディジタル情報資源の検索方法を理解する
第９回	内容	図書情報の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく
			復習	図書情報の検索方法を理解する
第 10 回	内容	雑誌・雑誌記事の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく
			復習	雑誌・雑誌記事の検索方法を理解する
第 11 回	内容	新聞記事の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく
			復習	新聞記事の検索方法を理解する
第 12 回	内容	言葉・事柄・統計の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく
			復習	言葉・事柄・統計の検索方法を理解する
第 13 回	内容	歴史・日時の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく
			復習	歴史・日時の検索方法を理解する
第 14 回	内容	地理・地名・地図の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく
			復習	地理・地名・地図の検索方法を理解する
第 15 回	内容	人物・企業・団体の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく
			復習	人物・企業・団体の検索方法を理解する
第 16 回	内容	法律・判例・特許の検索	予習	教科書該当箇所を読んでおく
			復習	法律・判例・特許の検索方法を理解する
第 17 回	内容	印刷資料の実際①（図書館内での演習）	予習	第 7-16 回の目的別検索方法を理解しておく
			復習	印刷資料での検索を理解する
第 18 回	内容	印刷資料の実際②（図書館内での演習）	予習	第 7-16 回の目的別検索方法を理解しておく
			復習	印刷資料での検索を理解する
第 19 回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説①（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-18 回の目的別検索方法を理解しておく
			復習	各種問題の検索方法を理解する
第 20 回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説②（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-18 回の目的別検索方法を理解しておく
			復習	各種問題の検索方法を理解する
	内容		予習	第 3-18 回の目的別検索方法を理解しておく

	第 21 回		応用：個別練習問題の実施と解説③（図書館内と PC ルームでの演習）	復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 22 回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説④（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-18 回の目的別検索方法を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 23 回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説⑤（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-18 回の目的別検索方法を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 24 回	内容	応用：個別練習問題の実施と解説⑤（図書館内と PC ルームでの演習）	予習	第 3-18 回の目的別検索方法を理解しておく
				復習	各種問題の検索方法を理解する
	第 25 回	内容	発信型情報サービス①インフォメーションファイル（資料収集）	予習	情報サービスについて考える
				復習	インフォメーションファイルの特性を理解する
	第 26 回	内容	発信型情報サービス②インフォメーションファイル（作成）	予習	情報サービスについて考える
				復習	インフォメーションファイルの特性を理解する
	第 27 回	内容	発信型情報サービス③インフォメーションファイル（作成）	予習	情報サービスについて考える
				復習	インフォメーションファイルの特性を理解する
	第 28 回	内容	発信型情報サービス④スファインダー（資料収集）	予習	情報サービスについて考える
				復習	パスファインダーの特性を理解する
	第 29 回	内容	発信型情報サービス⑤パスファインダー（作成）	予習	情報サービスについて考える
				復習	パスファインダーの特性を理解する
	第 30 回	内容	情報サービスの評価 まとめ	予習	情報資源とサービス技術を振り返る
				復習	サービスの評価と改善点を提案できる
	予習に要する学習時間：概ね　30　分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね　30 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	演習時に個々の課題を解説する				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○ ）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（ 90 %）、作品・発表（　　%）、実技（　　%）、授業態度【積極参加】（10　%）				
教科書	『現代図書館情報学シリーズ　7：三訂　情報サービス演習』（原田智子、樹村房）				
参考文献	授業時に指示する				
補足事項	1. 授業は本学図書館所蔵のレファレンスブックと PC と使用して行う。 2. レファレンスの解説と演習を行い、演習問題の記録をレポートとして作成する。演習では、質問に対する直接的な回答そのものを求めるのではなく、その回答に至るまでの調査過程、使用したレファレンスツールの特徴や内容構成などの理解を重視する。 3. 全体の流れにより多少の変更がある。				

科　目　名	図書館情報資源概論	単 位 数	2	授業時間数	３０	担当教員	つちや　みゆう 土屋　深優
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3226	授業形態	講義	実務経験			

授業方式	(対面)・　遠隔　・　その他（　　）
授業の内容	図書館情報資源である印刷資料、非印刷資料、デジタル情報資源等について説明します。これらの情報資源について、歴史、特徴、流通、収集整理、コレクション形成方法等、図書館業務に必要となる基礎知識を学びます。特に実際の図書館業務に関わる内容はグループワークを通して理解を深めます。
到達目標	１．印刷資料、非印刷資料、デジタル情報資源等の特徴と管理について理解している ２．図書館情報資源に関する図書館業務について説明できる ３．図書館情報資源の現状、課題、展望について理解している
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　　）文化表現学科（　１．２．３．４　）

授業計画

第１回	内容	オリエンテーション 図書館情報資源とは何か	予習	シラバスの内容をよく読んでおく
			復習	本授業の内容を理解する
第２回	内容	印刷資料の歴史と特徴	予習	印刷資料にどのようなものがあるか調べる
			復習	印刷資料の特徴について理解する
第３回	内容	非印刷資料の類型と特徴	予習	非印刷資料にどのようなものがあるか調べる
			復習	非印刷資料の特徴について理解する
第４回	内容	デジタル情報資源の類型と特徴	予習	NDL のデジタルコレクションにアクセスし、興味のある資料を利用する
			復習	デジタル情報資源について理解する
第５回	内容	デジタル情報資源と図書館（グループワーク・討議）	予習	図書館における電子書籍の貸出について調べる
			復習	デジタル情報資源の図書館での取り扱いについてレポートを書く
第６回	内容	障害者サービス・高齢者サービスのための情報資源	予習	DAISY 資料について調べる
			復習	障害者・高齢者サービスのための情報資源について確認する
第７回	内容	資料の内容による特性と取り扱い（地域資料、行政資料、学術資料）	予習	地域資料・行政資料にどのようなものがあるか調べる
			復習	形態による分類と内容による分類を整理する
第８回	内容	情報資源の出版と流通	予習	書籍の出版・流通の流れについて調べる
			復習	書籍が出版されてから図書館で受け入れられるまでの過程をまとめる
第９回	内容	図書館の知的自由	予習	「知的自由」とは何か調べる
			復習	図書館の自由に関する宣言の内容を理解する
第 10 回	内容	コレクション形成の方法	予習	図書館コレクションの意義について調べる
			復習	コレクション形成の理論について理解する
第 11 回	内容	コレクション形成の方法と選書（グループワーク・討議）	予習	埼玉県立図書館の選書方針を読む
			復習	コレクション形成についてレポートを書く
第 12 回	内容	図書館資料の受入	予習	図書館における資料の組織化とは何か調べる
			復習	図書館における受入業務の内容を理解する
第 13 回	内容	図書館におけるコレクションの管理	予習	図書館資料の受入れ・除籍について調べる
			復習	図書館情報資源の管理について理解する
第 14 回	内容	学術情報基盤	予習	機関リポジトリについて調べる
			復習	自分で学術情報を探せるようになる
第 15 回	内容	図書館情報資源の今後の展望（グループワーク）	予習	新たな情報資源について調べる
			復習	図書館情報資源の今後についてレポートを書く

予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。

課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（70%）、作品・発表（　　%）、実技（　　%）、授業態度【討議での積極性】(30%)
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。
参考文献	『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望８　図書館情報資源概論』(藤田岳久、学文社、2016) 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ　8　図書館情報資源概論　新訂版』(馬場俊明、日本図書館協会、2018)
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。

科　目　名	情報資源組織論	単 位 数	2	授業時間数	３０	担当教員	つちや　みゆう 土屋　深優
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3227	授業形態	講義	実務経験			

授業方式	(対面)・　遠隔　・　その他（　　）
授業の内容	図書館において収集した資料を利用者に適切に提供するための組織化について、目録、分類法、書誌情報等の、歴史的展開、理論、基礎知識を解説します。目録法、分類法、シソーラスに関してはグループワークを通して技術的学びを深めます。
到達目標	１．情報資源組織化の目的と意義を説明できる ２．情報資源組織化の歴史的展開と理論を理解できる ３．情報資源組織化の基礎知識・技術を理解できる
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　　）文化表現学科（　２、３、４　）

授業計画

第１回	内容	オリエンテーション 情報資源組織化の目的と意義	予習	シラバスの内容をよく読んでおく
			復習	本授業の内容を理解する
第２回	内容	書誌コントロールと標準化	予習	書誌コントロールとは何か調べる
			復習	書誌コントロールの必要性について理解する
第３回	内容	目録の歴史・役割・種類	予習	目録とは何か調べる
			復習	目録の歴史と役割について確認する
第４回	内容	オンライン閲覧目録（OPAC）（グループワーク・発表）	予習	実際に OPAC を利用しておく
			復習	OPAC の管理についてグループワークの結果をレポートにまとめる
第５回	内容	日本目録規則の歴史と展開	予習	日本目録規則について調べる
			復習	日本目録規則の歴史と役割について確認する
第６回	内容	主題分析と分類法の概要	予習	分類法の種類について調べる
			復習	分類法の種類と違いについて理解する
第７回	内容	日本十進分類法（NDL）（グループワーク・討議）	予習	日本十進分類法について調べる
			復習	日本十進分類法の使用についてレポートを書く
第８回	内容	語による主題組織法（表）の概要	予習	主題分析法について調べる
			復習	代表的なシソーラスと件名標目表について理解する
第９回	内容	シソーラスと件名標目（グループワーク・討議）	予習	シソーラスと件名標目表を使ってみる
			復習	シソーラスと件名標目表についてグループワークの結果をレポートにまとめる
第 10 回	内容	書誌情報の作成（MARC）	予習	MARC の歴史について調べる
			復習	MARC の歴史的展開について理解する
第 11 回	内容	書誌情報の流通（書誌ユーティリティ）	予習	NACSIS-CAT と CiNii について調べる
			復習	日本の書誌ユーティリティについて理解する
第 12 回	内容	ネットワーク情報資源の組織化	予習	ネットワーク情報資源の種類について調べる
			復習	ネットワーク情報資源の組織かについて必要性と問題点を理解する
第 13 回	内容	メタデータとダブリンコア	予習	メタデータとは何か調べる
			復習	ダブリン・コアについて確認する
第 14 回	内容	多様な情報資源の組織化	予習	館種別の情報資源組織化について調べる
			復習	多様な情報資源の組織化についてグループワークの結果をレポートにまとめる
第 15 回	内容	情報資源組織化の展望（グループワーク・討議）	予習	ウェブアーカイブの組織化について調べる
			復習	情報資源組織化の展望について理解する

予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。

課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（60%）、作品・発表（10%）、実技（　　%）、授業態度【討議での積極性】（30%）
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。
参考文献	『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望３　情報資源組織論　第２版』（榎本裕希子・石井大輔・名城邦孝編、学文社、2019） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ　9　情報資源組織論』（柴田正美・高畑悦子、日本図書館協会、2020）
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。

科　目　名	情報資源組織演習	単 位 数	2	授業時間数	６０	担当教員	こやま　もりえ 小山　守惠
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3232	授業形態	演習	実務経験			

授業方式	(対面)・　遠隔　・　その他（　　）
授業の内容	「情報資源組織論」で学んだ理論や知識を基にして、多様な情報資源に関する書誌データの作成を行う。 書誌記述、主題分析、統制語彙の適用等の演習を通して、目録作成の実践的な能力を習得する。
到達目標	１．演習を通して書誌情報の内容と意義を説明できる。 ２．『日本目録規則　2018 年版』に基づいて書誌データを作成することができる。 ３．『日本十進分類法　新訂 10 版』を使用して分類記号を付与することができる。 ４．『基本件名標目表　第４版』を使用して件名標目表を付与することができる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　文 3、4 相当　）文化表現学科（　3、4　）

授業計画

第１回	内容	ガイダンス 図書館業務と情報資源組織	予習	シラバスを読んでおく
			復習	第１回の講義内容をまとめる
第２回	内容	目録法（演習）	予習	「目録法」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第３回	内容	NCR2018 の構成（演習）	予習	「NCR2018」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第４回	内容	目録作業の実際：図書　データ例（演習）	予習	「目録作業」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第５回	内容	目録作業の実際：図書　属性総則（演習）	予習	「属性総則」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第６回	内容	目録作業の実際：図書　体現形の属性の記録（演習）	予習	「体現形の属性」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第７回	内容	目録作業の実際：図書　実体の属性の記録（演習）	予習	「実体の属性の記録」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第８回	内容	目録作業の実際：図書　アクセス・ポイント（演習）	予習	「アクセス・ポイント」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第９回	内容	目録作業の実際：図書　関連の記録（演習）	予習	「関連」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第 10 回	内容	目録作業の実際：図書以外（演習）	予習	「図書以外」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第 11 回	内容	書誌ユーティリテイと目録作業：NACSIS-CAT MARC（演習）	予習	「NACSIS-CAT MARC」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第 12 回	内容	書誌ユーティリテイと目録作業：NACSIS-CAT　データ内容（演習）	予習	「NACSIS-CA T　データ内容」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第 13 回	内容	書誌ユーティリテイと目録作業：NACSIS-CA　登録（演習）	予習	「NACSIS-CA　登録」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第 14 回	内容	主題組織法：主題分析（演習）	予習	「主題組織法」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第 15 回	内容	分類作業の実際：NDC（演習）	予習	「NDC10 版」について教科書の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第 16 回	内容	分類作業の実際：NDC　分類規程（演習）	予習	「NDC　分類規程」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第 17 回	内容	分類作業の実際：NDC　補助表（演習）	予習	NDC　補助表」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる
第 18 回	内容	分類作業の実際：NDC　各類別（0 類総記、1 類哲学）（演習）	予習	「0 類総記、1 類哲学」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
			復習	演習の内容をレポートにまとめる

	第 19 回	内容	分類作業の実際：NDC　各類別（2 類歴史、3 類社会科学）（演習）	予習	「2 類歴史、3 類社会科学」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 20 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（4 類自然科学、5 類技術・工学）（演習）	予習	「4 類自然科学、5 類技術・工学」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 21 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（6 類産業、7 類芸術）（演習）	予習	「6 類産業、7 類芸術」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 22 回	内容	分類作業の実際：NDC 各類別（8 類言語、9 類文学）（演習）	予習	「8 類言語、9 類文学」について教科書と NDC10 版の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 23 回	内容	分類作業の実際：まとめ（演習）	予習	第 15～22 回までの「分類」に関する演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 24 回	内容	件名作業の実際： BSH（演習）	予習	「BSH」について教科書の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 25 回	内容	件名作業の実際： BSH　見方（演習）	予習	「BSH」について教科書の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 26 回	内容	件名作業の実際：BSH　手順（演習）	予習	第 24～25 回までの「BSH」に関する演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 27 回	内容	メタデータの実際：役割（演習）	予習	「メタデータ」について教科書の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 28 回	内容	メタデータ作業の実際（演習）	予習	第 27 回の演習を確認しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 29 回	内容	索引・抄録作業（演習）	予習	「索引・抄録作業」について教科書の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	第 30 回	内容	引用文献索引作業、まとめ（演習）	予習	「引用文系索引作業」について教科書の該当箇所を予読しておく
				復習	演習の内容をレポートにまとめる
	予習に要する学習時間：概ね 90　分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90　分を目安とする。				
課題へのフィードバック	演習課題実施後に解説を行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（ 100　%）、作品・発表（　　%）、実技（　　%）、授業態度【　　】（　　%）				
教科書	『現代図書館情報学シリーズ　10：三訂　情報資源組織演習』　小西和信・田窪直規、樹村房、				
参考文献	『日本目録規則 2018 年版　』　日本図書館協会目録委員会，日本図書館協会 ： 2019 『日本十進分類法　新訂 10 版(2 巻セット)』　日本図書館協会分類委員会，日本図書館協会 ： 2015 『基本件名標目表　第 4 版』　日本図書館協会件名標目委員会，日本図書館協会 ： 1999				
補足事項	1. 授業は教科書を基に行う。 2. 情報資源組織の解説と演習を行い、演習問題の記録をレポートとして作成する。 3. 全体の流れにより多少の変更がある。				

科　目　名	図書館基礎特論	単 位 数	1	授業時間数	１６	担当教員	こやま　もりえ 小山　守恵
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3233	授業形態	講義	実務経験			

授 業 方 式	(対面)・　遠隔　・　　その他（　　）
授　業　の 内　　容	情報社会における図書館、司書の役割や機能について、特に図書館情報資源に注目して理解を深める。
到 達 目 標	１．情報社会における図書館の役割と機能について、さまざまな視点から理解し説明できる ２．図書館の情報発信に関わる課題について説明できる ３．
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　文３，４に相当　）文化表現学科（　3，4　　）

授 業 計 画

第１回	内容	ガイダンス 図書館協力と蔵書構成　①	予習	シラバスを読んでおく
			復習	図書館協力の課題をまとめる
第２回	内容	図書館協力と蔵書構成　②　本校図書館内での実習	予習	本校の蔵書構成を理解しておく
			復習	本稿の蔵書構成を整理する
第３回	内容	図書館協力と蔵書構成　③　公共図書館での実習	予習	公共図書館の蔵書構成を理解しておく
			復習	公共図書館の蔵書構成を整理する
第４回	内容	図書館協力と蔵書構成　④　まとめ	予習	図書館協力の状況を理解しておく
			復習	図書館連携の課題を整理する
第５回	内容	豆本の制作　①	予習	豆本のテーマを考えておく
			復習	テーマに合った工夫を考えておく
第６回	内容	豆本の制作　②	予習	豆本のテーマを考えておく
			復習	テーマに合った工夫を考えておく
第７回	内容	豆本の制作　③	予習	豆本のテーマを考えておく
			復習	図書館のサービスを再考する
第８回	内容	図書館の役割 図書館演習のまとめ	予習	図書館の在り方について理解しておく
			復習	図書館の在り方を理解する
第９回	内容		予習	
			復習	
第 10 回	内容		予習	
			復習	
第 11 回	内容		予習	
			復習	
第 12 回	内容		予習	
			復習	
第 13 回	内容		予習	
			復習	
第 14 回	内容		予習	
			復習	
第 15 回	内容		予習	
			復習	

予習に要する学習時間：概ね 90　分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90　分を目安とする。

課題へのフィードバック	各館の課題に対して解説を行う。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○ ）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（50%）、作品・発表（50%）、実技（　　%）、授業態度【　　】（　　%）
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 関連資料を授業毎に用意する。
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業時に提示する。
補足事項	授業を通じて、他館連携の課題に積極的に取り組んで欲しい。

科　目　名	図書館サービス特論	単 位 数	1	授業時間数	１６	担当教員	こやま　もりえ 小山　守惠
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3228	授業形態	講義	実務経験			

授業方式	(対面)・　遠隔　・　　その他（　　）
授業の内容	図書館の諸問題について取り上げ、幅広く図書館サービスについて知識を深める。 図書館等の視察を行い、各種図書館サービスの特性を学習する。
到達目標	１．各種図書館における情報サービスについて説明できる。 ２．各種図書館の評価ができる。 ３．効果的な読書案内の提案を身につけている。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　文 3、4 に相当　）文化表現学科（　3、4　　）

授業計画

第１回	内容	ガイダイス 図書館のサービス提供　①外国の図書館	予習	シラバスを読んでおく
			復習	この科目で習得すべき内容を理解する
第２回	内容	図書館のサービス提供　②専門図書館	予習	図書館管理システムとは何かを考える
			復習	図書館管理システムを理解する
第３回	内容	図書館のサービス提供　③図書館の評価、視察事前学習	予習	図書館管理システムの違いを整理しておく
			復習	図書館管理システムの特性を考える
第４回	内容	校外学習　図書館視察	予習	図書館の設置目的を考える
			復習	図書館の特性を理解する
第５回	内容	校外学習　図書館視察	予習	図書館の設置目的を考える
			復習	図書館の特性を理解する
第６回	内容	校外学習　図書館視察	予習	対象館を調べる
			復習	対象館の特性をまとめる
第７回	内容	図書館サービスの現状　①ポップ	予習	提案型サービスの在り方を考える
			復習	効果的提案の在り方を考える
第８回	内容	図書館サービスの現状　②ポップ	予習	ポップ作成手順を理解しておく
			復習	ポップをまとめる
第９回	内容		予習	
			復習	
第 10 回	内容		予習	
			復習	
第 11 回	内容		予習	
			復習	
第 12 回	内容		予習	
			復習	
第 13 回	内容		予習	
			復習	
第 14 回	内容		予習	
			復習	
第 15 回	内容		予習	
			復習	

予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。

課題へのフィードバック	図書館評価の視点を、視察を通して理解を深め、各館の課題を考えさせ、発表させる。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（ 90　%）、作品・発表（　　%）、実技（　　%）、授業態度【積極参加】（ 10%）
教科書	関連資料を授業時毎に用意する。
参考文献	授業時に提示する。
補足事項	1. 図書館等の視察を行い、報告書を作成する。資格取得を目的とした講座の為、自主的に多くの図書館を視察して、図書館サービスの事例を調査することを望む。図書館視察は受け入れ館と日程調整を要するため、現在日程は未定。調整が取れない場合、また状況によっては授業内容の変更を行う。 2. ポップ作品は、文化祭で授業成果として発表展示を行う。

科　目　名	図書館情報資源特論	単 位 数	1	授業時間数	１６	担当教員	のなか　ひろふみ 野中　博史
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	LIS3234	授業形態	講義	実務経験			

授業方式	(対面)・　遠隔　・　その他（　　）
授業の内容	①　図書館司書として必要な基盤的な力を育むため「書評」を執筆する授業です。執筆する書評は NDC の２つの分野です。 ②　執筆したのち作品を「製本化」「ポップ化」します。 ③　最後にビブリオバトルを開催し発表します。調査・執筆・発表にわたるアクティブラーニングの授業です。 本授業は地域貢献・地域指向の授業であり、出来上がった作品は所沢図書館新所沢分館に展示される予定です。
到達目標	１．　書物を読んで思考する力を育むことができる。 ２．　書物を読んで多様な価値観に対する判断力を育むことができる。 ３．　自ら考え判断して表現する力を育むことができる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　　）文化表現学科（２・３・４　）

授業計画					
	第１回	内容	書評の説明と書評の読書。	予習	特にありませんが、日頃読書に努めてください。
				復習	書評とは何かについて確認して下さい。
	第２回	内容	新聞に掲載された書籍の書評の鑑賞と書籍選び。	予習	書として書く本の選択をしてください（2 作品）。
				復習	書評作品の構成を確認してください。
	第３回	内容	書評作品（2 作）の読書と書評の執筆。	予習	書評の執筆（実際に書き上げてください）。
				復習	書評の執筆とデザインの作成。
	第４回	内容	書評作品（2 作）の読書と書評の執筆	予習	書評の執筆とデザインの作成。
				復習	書評の執筆とデザインの作成。
	第５回	内容	パソコンを使って書評作品の編集作業をします。	予習	書評の執筆とデザインの作成。
				復習	出来上がった作品の確認と手直し。
	第６回	内容	パソコンを使って書評作品をポップ化します。	予習	ポップデザインの予習。
				復習	ポップ作品作り。
	第７回	内容	パソコンを使って書評作品をポップ化します。	予習	ポップ作品作り。
				復習	ポップ作品の確認。
	第８回	内容	ビリオバトルを開催します。	予習	ビブリオバトルの準備。
				復習	振り返り。
	第９回	内容		予習	
				復習	
	第 10 回	内容		予習	
				復習	
	第 11 回	内容		予習	
				復習	
	第 12 回	内容		予習	
				復習	
	第 13 回	内容		予習	
				復習	
	第 14 回	内容		予習	
				復習	
	第 15 回	内容		予習	
				復習	
	予習に要する学習時間：概ね１２０分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね８０分を目安とする。				

課題へのフィードバック	授業中に学生とのやり取りを通じて随時フィードバックしていきます。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（　　%）、作品・発表（　　%）、実技（９０%）、授業態度【調査等】（１０%）
教科書	『書名』（著者名、出版社名）
参考文献	一般書の読書に勤めてください。
補足事項	書評を書くうえで、なるべく最近の新しい本、小説だけでなく社会科学や自然科学の本を読んでください。

科目名	図書・図書館史	単位数	1	授業時間数	16	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史
ナンバリングコード	LIS3235	授業形態	講義	実務経験			

授業方式	(対面) ・ 遠隔 ・ その他（ ）
授業の内容	図書館司書として不可欠の図書と図書館の歴史に関する知識の修得及び図書及び図書館に関する課題を発見する力を育む授業とする。課題発見のための調査を含むアクティブラーニングの授業とします。
到達目標	1. 世界の図書館の歴史について理解し、説明できる。 2. 世界の記録メディアの歴史について理解し、説明できる。 3. 図書館と民主主義との関係について理解し、説明できる。
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ２．３．４ ）

授業計画

第1回	内容	授業の内容と授業方法、予習・復習の方法、授業の仕方について説明	予習	特に必要ありません。
			復習	説明内容についてよく理解しておくこと。
第2回	内容	紙と紙以前の記録メディア	予習	記録メディアの種類と機能について調べておくこと。
			復習	記録メディアの種類と機能について確認すること。
第3回	内容	印刷機の発明と大量印刷時代	予習	大量印刷の歴史について調べておくこと。
			復習	ルネサンスと印刷文化について確認すること。
第4回	内容	雑誌・新聞の歴史	予習	雑誌や新聞の歴史を調べておくこと。
			復習	新聞、雑誌の役割と意義について確認すること。
第5回	内容	マスメディアとメディアの多様化	予習	マスメディアの種類について調べておくこと。
			復習	マスメディアの多様化と社会について確認すること
第6回	内容	古代・中世・近世の図書館（世界）	予習	世界の図書館の歴史について調べておくこと。
			復習	歴史と図書館の役割・意義について確認すること。
第7回	内容	戦後民主主義と図書館（日本）	予習	日本の民主主義の歴史について調べておくこと
			復習	民主主義下における図書館の意義について確認すること。
第8回	内容		予習	
			復習	
第9回	内容		予習	
			復習	
第10回	内容		予習	
			復習	
第11回	内容		予習	
			復習	
第12回	内容		予習	
			復習	
第13回	内容		予習	
			復習	
第14回	内容		予習	
			復習	
第15回	内容		予習	
			復習	

予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね180分を目安とする。

課題へのフィードバック	適宜、学習成果に関して確認の時間を取ります。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：　筆記試験（ %）、レポート・課題（７０%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【課題提出状況】（ ３０%）
教科書	『書名』（著者名、出版社名）
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）『図書・図書館史』（小黒浩司編、日本図書館協会）を推奨します。
補足事項	８回の授業の中で適宜、課題を与えますので調査（アクティブラーニング）・提出して頂きます。教材は１週間前に配布しますので予習してください。